



ミュージアムグッズ(ジグソーパズル)の発売について

1 主旨

市立博物館では、館の魅力をアップし来館する楽しみを増やすために、館蔵品をもとにした 6 種類のジグソーパズルを新たに企画・製作しました。内訳は、

- ①ガンダーラ・シルクロード関係資料 3 点
- ②錦絵から国芳 (くによし)・広重 (ひろしげ) の作品 2 点
- ③昭和 11 年の松戸市街図「伸び行く松戸」1 点 　　です。

2 選定の理由

今回これらの資料を対象にした理由は、ジグソーパズルとして製品にしやすいことはもちろんですが、そのほかに

- ①「ガンダーラ・シルクロード関係資料」は、他の博物館に貸出の機会が多い名品とされている資料であること。
- ②国芳の「天日坊」は江戸時代の虚無僧 (こむそう) を、広重の「下総小金原 (しもうさこがねはら)」は小金牧 (こがねまき) を題材にしており、それぞれ博物館の展示テーマのひとつになっていて、関連資料を展示室で見ることができること。
- ③「伸び行く松戸」は「松戸町」当時の姿を知ることができる面白い資料で、総合展示室に常設されていますが、あまり知られずにいたので紹介する意味を込めて、それぞれ製品化しました。

3 ジグソーパズルの大きさ・価格等

(1)仕上がりの大きさは、①②が 18.2×25.7cm (108 ピース)、③が 18.2×51.5cm (420 ピース) で、子どもと大人が一緒になって楽しむのにちょうどよい大きさです③は横長なので、大きさが①②よりも大判になりました。

(2)6 種類それぞれ 50 個を製作しました。価格は①②が 900 円、③が 1,200 円です。博物館の受付で展示・販売中です (額は別売)。

(3)4/29 (祝) から販売を開始して、現在までに 16 個を販売済みです。一番人気は③の「伸び行く松戸」で 5 個、次に②の広重の「下総小金原」が 4 個売れました。

4 今後の予定

お客様の反応を見ながらパズルの種類を増やし、また別のミュージアムグッズも新たに企画・製作していきたいと考えております。

5 添付資料

各資料の解説文

【問い合わせ先】

教) 生涯学習部 市立博物館 ☎ 0 4 7 - 3 8 4 - 8 1 8 1

把手付水瓶（はしゅつきすいびょう）パキスタン（1～2世紀）45×27cm

象の鼻が注ぎ口になっていて、肩の部分には古代インドで使われたカロシュティ文字が刻まれています。このような把手がついた水瓶は仏陀の誕生を表す浮彫にも見ることができます。注ぎ口と水瓶本体はもともと別個体ですが、接合されています。

破風形浮彫（はふがたうきぼり）パキスタン（3～4世紀）92×52.5cm

破風形の石板に仏伝の場面が表されています。1段目は2体のトリトーン（下半身が蛇状）に礼拝される仏坐像、2段目は供養者の帰依をうける仏坐像、3段目中央は「樹に縛られた子供」で、両側は「仙人訪問」です。4段目は「マツラ族の移石」、5段目は「幼児の土布施」です。

菩薩半跏像（ぼさつはんかぞう）パキスタン（1～4世紀）71×28cm

仏陀の像（仏像）が飾りをつけないのに対し、菩薩像は装身具を身に着けています。この像は頭にターバンをつけ、耳飾り・首飾り・腕輪・胸飾り・臂釧（ひせん）で身を飾っています。右の肩のあたりに破損した頭光の一部が残っています。

歌川国芳「天日坊」（うたがわくによし「てんにちぼう」）大判 39×26cm

この錦絵は、嘉永二年(1849)八月に江戸の市村座で公演された歌舞伎「詞花紅成盛（ことばのはな もみじのよざかり）」の一場面です。登場人物の景清（かげきよ）が、虚無僧の格好をしたようすを描いています。

景清は、市村羽左衛門（いちむらうざえもん）という歌舞伎役者が演じました。作者の歌川国芳は、勇ましい武者絵や、たのしい戯画を得意としましたが、役者絵でも優れた作品を描いています。

歌川広重「富士三十六景 下総小金原」 大判 39×26cm

（うたがわひろしげ「ふじさんじゅうろっけい しもうさこがねはら」）

江戸時代には、今の松戸や野田・柏・流山・鎌ヶ谷などの地域にまたがる、「小金牧（こがねまき）」が広がり、野生馬が放し飼いにされていました。

この錦絵は、近くに大きく描いた馬で迫力を出し、はるか遠くには富士山を描いて、雄大に広がった小金原を描いています。作者の歌川広重は、「東海道五十三次之内」など全国各地の名所を次々と描いた人気浮世絵師でした。

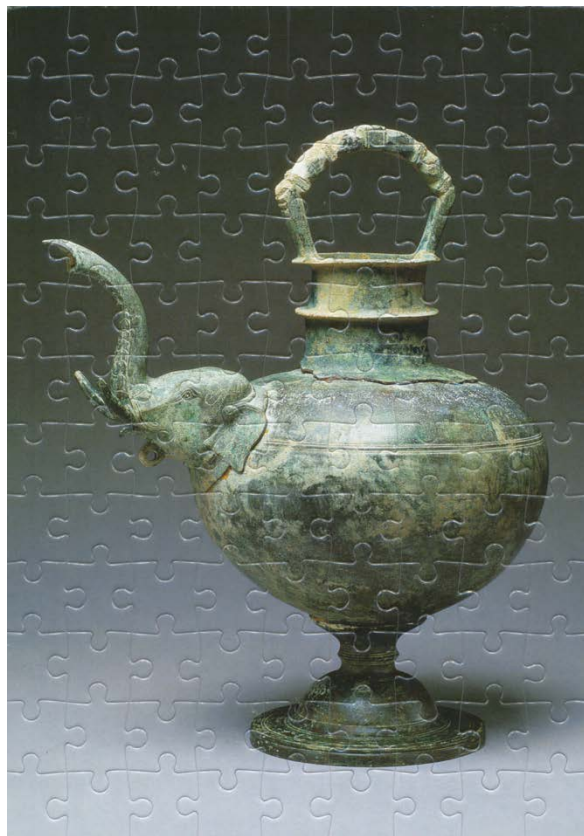
「伸び行く松戸」 松戸町役場発行 昭和 11（1936）年 16.5×68.8cm

常磐線上野・松戸間の電化（昭和 11 年 12 月 11 日）を記念して作成されたと思われる松戸町の PR パンフレットです。表面は空から松戸町を見た鳥瞰図（ちょうかんず）で、第二次世界大戦後に移転した施設（官公署、学校）や消滅した施設（陸軍工兵学校、遊郭、ゴルフ場）の位置を知ることができます。裏面には松戸町の名所旧跡などの紹介記事が書かれています。

3 菩薩半跏像



1 把手付水瓶



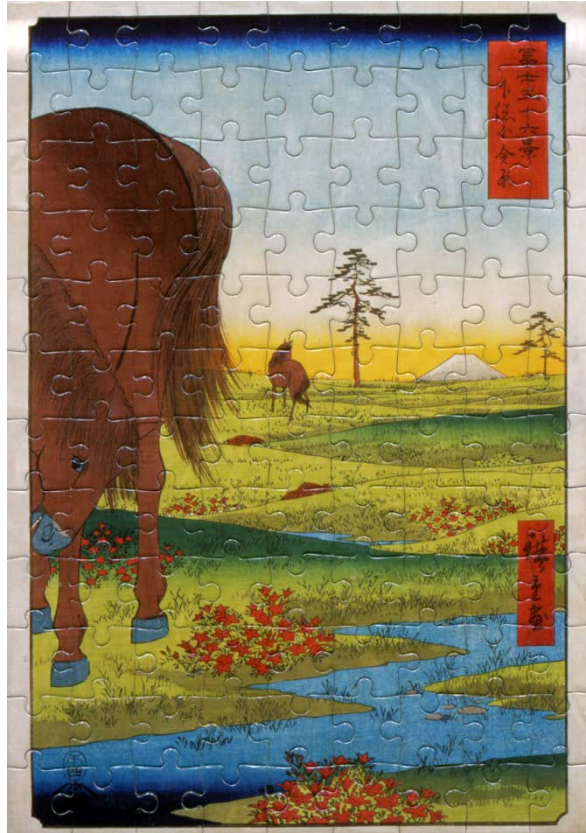
4 歌川国芳「天日坊」



2 破風形浮彫



5 歌川広重「富士三十六景 下総小金原」



6 「伸び行く松戸」

